

4. 再帰呼び出しを可視化してみ よう



Python Tutorで再帰呼び出しを試してみよう

以下の階乗を計算する関数を Python Tutorで実行してみましょう

```
Write code in Python 3.6

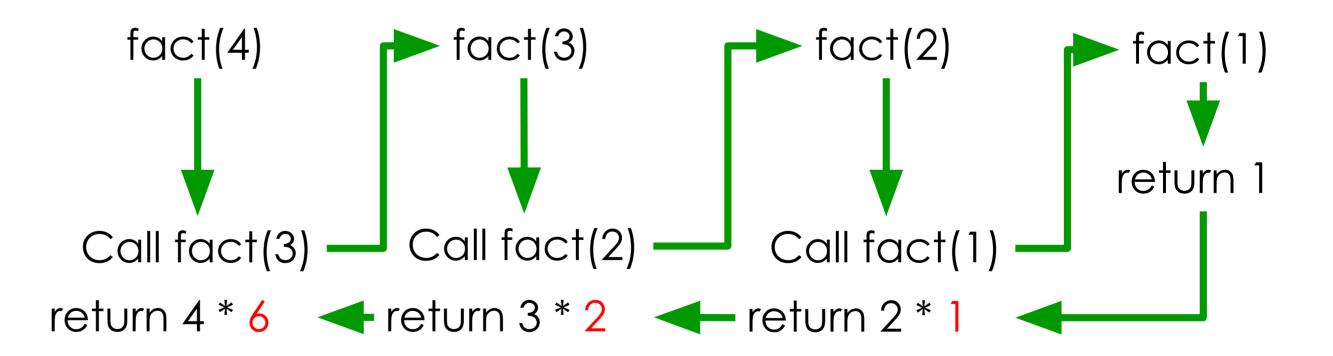
1    def fact(n):
2        if n <= 1:
3            return 1
4            return n * fact(n-1)
5
6    fact(4)</pre>
```



(再掲)再帰呼出しの例

例えば、fact(4)を呼び出すと、以下のような手順で実行されて結果が求まります

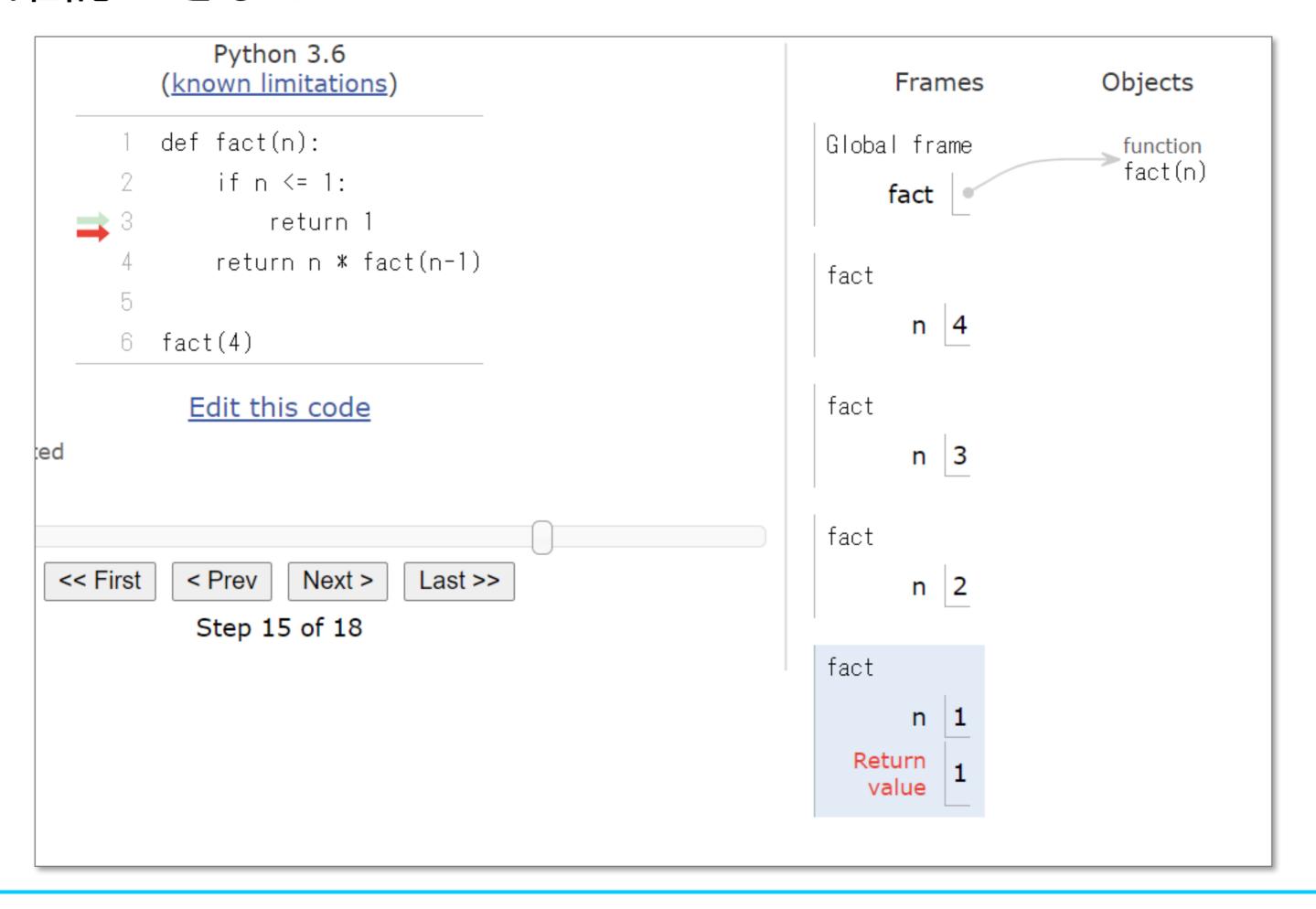
```
def fact(n):
    if n <= 1:
        return 1
    return n * fact(n - 1)</pre>
```





Python Tutorで再帰呼び出しを試してみよう

実行の手順が確認できましたか?





フィボナッチ数例を Python Tutorで試してみよう

- 以下のフィボナッチ数列を求めるプログラムを Python Tutor で実行してみてください
 - フィボナッチ数列については、2-2計算量のスライドを見直して復習してください
- 関数 fib(n) が呼び出される順番は、以下のようになるはずです
 - = fib(5)->fib(4)->fib(3)->fib(2)->fib(1)->fib(0)->fib(1)->fib(2)->fib(1)->fib(0)->fib(3)->fib(2)->fib(1)->fib(0)->fib(1)

```
Write code in Python 3.6

1    def fib(n):
2         if n <= 0:
3            return 0
4         if n == 1:
5            return 1
6            return fib(n-1) + fib(n-2)
7
8
9    fib(5)
10</pre>
```